



働き方改革と病院勤務の現状



神戸掖済会病院

院長 島津 敬 先生

たかし

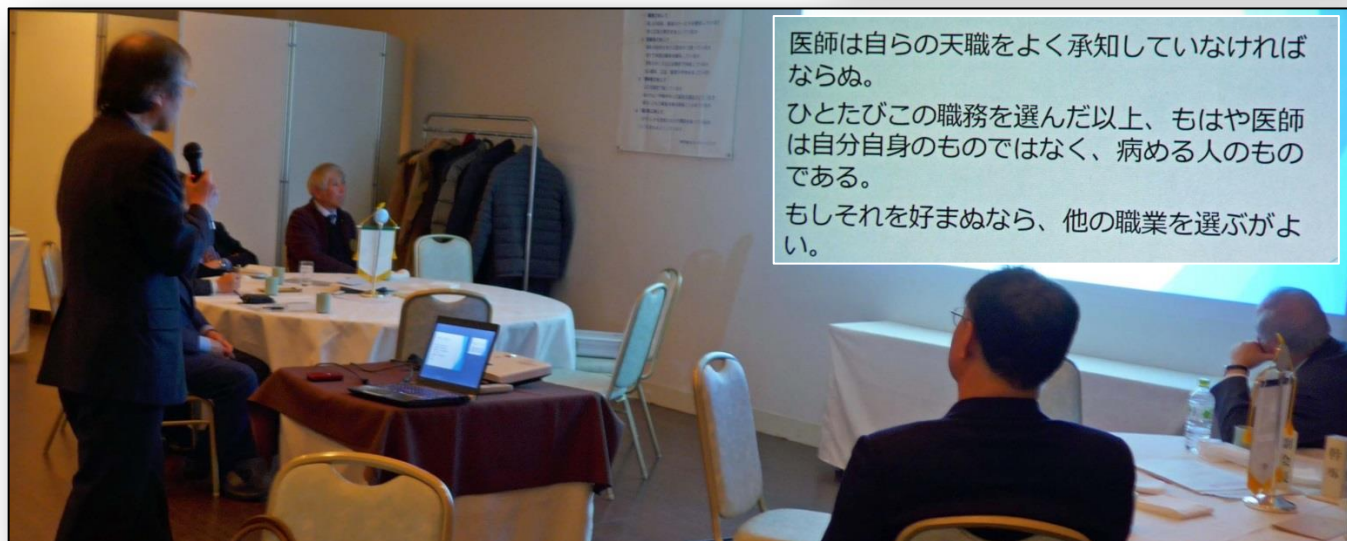
医師の労働時間短縮のための取組

- 医師事務作業補助者の配置
- 非常勤医師の活用
- 受け持ちチーム制の導入
- 複数主治医制と交代制
- セミオープンシステムの導入（産科）
- 子育て中の時間短縮勤務と当直免除

労働時間が週60時間を超える雇用の割合

- すべての雇用者について、1週間の労働時間の実績を見ると、60時間を超えるものが、雇用者全体の14%となっている。
- 職種別にみると、医師が最も高い比率(41.8%)であった。

医師（産科医・獣医を除く）	41.8%	建設・探鉱従事者	16.9%
自動車運転従事者	39.9%	運搬・清掃・包装等従事者	15.0%
生活衛生サービス従事者	35.1%	研究者	11.2%
飲食調理従事者	34.4%	生産工程従事者	10.4%
教員	23.6%	事務従事者	7.1%
販売従事者	20.0%	看護師	5.4%
保安職業従事者	18.5%	平均	14.0%



医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。
ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。
もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。

